

伝灯奉告と教区内催し□1
 阿弥陀さまと私□2
 新・祖蹟点描□3
 青色青光□4
 今秋から伝灯奉告法要□6
 響流十方□10
 つれもて聴こら□12



2016年(平成28年)
 1月1日
 第107号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

伝灯奉告法要10月～80日間

宗門にとって大きな喜びの年が明けました。今年(平成28年)6月6日に第24代・即如ご門主(現・前門さま)から法灯を継がれた、第25代・専如ご門主「伝灯奉告法要」が勤められる記念すべき年。平成28年10月1日から平成29年5月31日までの全10期(1期8日間)80日間、ご門主の世代が代わったことを仏祖の前に奉告する法要です。この法要を前に、ご門主は全国の教区・別院にご巡回・ご巡拝されている。当和歌山教区では、来る4月27日に鷺森別院にご巡回され、翌28日には日高別院にご巡拝されることになった。また、鷺森別院本堂が再建されて20周年を迎えることから5月15日にはその記念法要が勤められることになっており、若きご門主を先頭に、宗門をはじめ教区内は新しい時代の幕開けの年となる。

和歌山

教区ご巡回・鷺森別院ご巡拝◇4月27日
 日高別院ご巡拝◇4月28日
 本堂再建記念法要◇5月15日



若きご門主
 新時代の幕開く

阿弥陀さま

ハウツー仏事と私

お彼岸の起源は日想観にあり？



三部経」の一つで、息子である阿闍世王子によって王宮に幽閉された韋提希夫人の求めに応じて、お釈迦さまが極楽浄土を観ずる方法を説かれます。そのための「十六観」の最初が

「十六観」の最初が日想観なのです。極楽浄土を思いつつ西の空に沈みゆく太陽を見つめ、日没後、目を閉じても開けてもはつきりと太陽が見え

を此岸(こちらの岸)とし、此岸からさとり境界である彼岸(かの岸)に到達した状態を指す言葉で、漢訳語は「到彼岸」。これを略したのが彼岸なのです。これらのことからお彼岸の由来を考えますと、西方極楽浄土に思いをはせるの

には、春分の日と秋分の日が最も適しており、極楽浄土とはさとり世界「彼岸」であることから、この時期が「彼岸」と呼ばれるようになった、と言えそうです。浄土真宗における「お彼岸」の意義については、

「彼岸」とは、念仏の教えをいただいたものが、いのち終えて生まれていくさとの世界。仏となった懐かしい方々がおられる、阿弥陀如来の西方浄土のことである」：「如来に抱かれ、先に浄土に生まれた方々に導かれて、彼岸へと続けた

だ一つの道、念仏の道を歩むのである」と、あります。お彼岸といえは、お墓参りを連想する方が多いと思いますが、お墓に参るときも、まず本堂にお参りし、彼岸会(法要)があればお参りして、ご法話を聴聞し、お念仏の道を歩ませてくださいませよう。

お彼岸中のお仏壇のお荘厳(お飾り)は、中段の前卓に打敷(秋季は夏物)を掛け、仏華は青木の真に季節の花を生け、供物は白の小餅や季節の果物などをお供えます。もちろん、ほた餅・おはぎをお供えして

もけっこうです。(松本教智・「御同朋の社会をめぐす運動」和歌山教区委員長)

⑨ お彼岸

仏教行事で「お盆」に次いでなじみ深いのが、「お彼岸」ではないでしょうか。春分の日と秋分の日を中日とするそれぞれ一週間は、いわば仏教週間ご先祖や先に亡くなったい

かれた方々をしのびつつ、この私がお彼岸の方々に導かれて、西方浄土への道を歩ませてくださいませよう。それにしても、なぜ春分の日と秋分の日がポイントになるのでしょうか。

これには観無量寿經に説かれる「日想観」が関係しているとの説があります。観無量寿經は、浄土真宗がよりのところとする「浄土

日想観なのです。極楽浄土を思いつつ西の空に沈みゆく太陽を見つめ、日没後、目を閉じても開けてもはつきりと太陽が見え

になった、と言えそうです。浄土真宗における「お彼岸」の意義については、

「彼岸」とは、念仏の教えをいただいたものが、いのち終えて生まれていくさとの世界。仏となった懐かしい方々がおられる、阿弥陀如来の西方浄土のことである」：「如来に抱かれ、先に浄土に生まれた方々に導かれて、彼岸へと続けた

かれた方々をしのびつつ、この私がお彼岸の方々に導かれて、西方浄土への道を歩ませてくださいませよう。それにしても、なぜ春分の日と秋分の日がポイントになるのでしょうか。

西方浄土に思いはせ、お念仏の道歩む



大谷本廟のお彼岸の様子。④明著堂には「西方浄土」の花文字、⑤仏殿の法要では多くの参拝者が順次焼香

るようにと説かれています。中国の善導大師によれば、春分の日と秋分の日には太陽が真西に沈むため、西方浄土を観る日想観に最もふさわしいといわれています。

では、「彼岸」とはどういう意味なのでしょう。この言葉は、サンスクリット語「パーラミター」が元

ターとは、生死に迷う現世

ラジオ放送番組
みほとけとともに
 - 西本願寺の時間 -

◆ 毎週土曜日 午前5時50分から
 - 和歌山放送 (WBS) -

和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	1557kHz

岸」の意義については、

「彼岸」とは、念仏の教えをいただいたものが、いのち終えて生まれていくさとの世界。仏となった懐かしい方々がおられる、阿弥陀如来の西方浄土のことである」：「如来に抱かれ、先に浄土に生まれた方々に導かれて、彼岸へと続けた

新

祖蹟点描

9 比叡山 恵心院



阿弥陀如来をご本尊とする恵心院

横川に隠棲。恵心院に往したので、恵心僧都とも呼ばれた。

主著である『往生要集』は、題名の通り、経典や論疏から往生浄土に関する要文を集め、極楽往生を願う同信同行者の指南としたもの。日本で初めて浄土仏教の教義を体系的に記

法として挙げられるのは、阿弥陀さまの華座(蓮華の台座)とお体の42の相好(特徴)を順次観想する「別相観」、華座に座られた阿弥陀さまの全身を観想する「惣相観」、42相を略して白毫相(眉間の白色の旋毛)のみを観想する「雑略観」の三種であるが、これらはいずれも自分の力で浄土往生を確実にしようという自力的方法である。

しかし源信和尚は、その

院	場所	滋賀県大津市坂本本町4220 電話077(578)0001(代)
心	交通	京都駅でJR湖西線に乗り換え13分、 「比叡山坂本」駅下車、同駅前から 江若バス「ケーブル坂本線」で7分、 「ケーブル坂本」駅下車、坂本ケ- ブルに乗り換え11分、「ケーブル延 暦寺」駅下車、徒歩1時間35分。
恵		
山		

もし阿弥陀さまのお姿を
観想できなければ、阿弥陀
さまにおまかせする思いな
り、導き掴め取られる思い
なり、浄土に往生する思い
なりを持って、一心にお念
仏を称えなさい——と。

この点に注目され、『往
生要集』の真意は、阿弥陀
さまの他方のおすくいを説
くことにあると読まれたの
が、のちに親鸞聖人が師と
仰ぐ法然聖人だった。だが、
これは少し先を急ぎすぎた。

横川に満ちる源信和尚の遺徳

前回は「楞嚴横川の余流を湛へて」という『本願寺聖人親鸞伝絵』の表現から親鸞聖人が比叡山の横川で習学され、その地に伝わる教えの流れを存分に吸収されたことと示唆されることを述べた。

では、親鸞聖人が学ばれた教えの流れとはいかなるものだったのか。そのヒントとしてまず思い当たるのは、横川の地が、親鸞聖人が七高僧の第6祖として尊崇された源信和尚(942~1017)の隠棲された地であり、いわば源信和尚

以来のお念仏がしみ込んだ土地だったことである。

今回は源信和尚のご事跡を紹介しながら、そのあたりのことを考えたい。

源信和尚は『往生要集』で知られる比叡山におけるお念仏の教えの大家である。幼くして比叡山に上り、比叡山中興の祖といわれる慈恵大師良源に師事。優れた学才によって名声を得たが、虚栄を嫌い30歳をこそこ

した画期的な著作だった。『往生要集』の中心部分は、念仏の実践方法を説いた「正修念仏」にある。

ただし、ここでいう念仏とは、口に「南無阿弥陀仏」と阿弥陀さまのみ名を称える「称名念仏」ではない。精神統一した禅定の境地に入り、仏さまのお姿を目に見えながごとく思い浮かべる「観想念仏」である。

源信和尚がその具体的方

ような観想行ができない人間はどうすればいいかについても説かれる。

「もし相好を観念するに堪へざることあらば、あるいは帰命の想により、あるいは引摺の想により、あるいは往生の想によりて、一心に称念すべし」(註釈版聖

典七祖篇957)



恵心院から徒歩8分の恵心僧都廟

ともかく、親鸞聖人が横川の地に流れる教えを学ばれたというのは、少なくともその一部分は、源信和尚の遺徳が満ちる横川の地で『往生要集』などに触れ、そのお念仏の教えに親しまれたことを指すのではないかと思われるのである。

今年はずうと源信和尚千年忌の年。比叡山では「恵心僧都一千年御遠忌」が4月1日から始まる。

【参考文献】佐藤哲英『叡山浄土教の研究』(百華苑)

(本紙編集部)

にぎにぎしく教区子ども報恩講



児童、保護者、スタッフみんなで皿回し大会

鷺森別院に161人集う

「第27回和歌山教区子どもの集い」キッズサンガく子ども報恩講が12月12日、鷺森別院を会場に開催され、161人の児童が参加した。集いは、小学校6年生による献灯献花で始まり、はいのうたをお勤め。引き続き、中岡順忍鷺森別院

青色青光

和歌山教区・教区内14組・本山などのニュースをお届けする本コーナーは、今号から見開き面を挟んだ4ページに拡大。さらに広く情報を伝えます。

輪番の法話を聴聞した。



壮年会がお念珠づくりを指導

社推協 街頭募金とバザーで活躍

浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会和歌山教区支部(以下、社推協)は、社会福祉活動の推進を図るため、歳末助け合い街頭募金(写真)とチャリティーバザーを実施した。

●歳末助け合い街頭募金
社推協では12月1日、教区内の僧侶・門徒60人が協力して、歳末助け合い街頭



募金を実施。JR和歌山駅中央口、東口、和歌山市駅前広場の3カ所に分かれ通行人に募金を呼びかけた。この日集まった7万9757円は、社会福祉法人・読売光と愛の事業団に寄託され被災地支援事業や障害者の福祉、子どもの福祉など、さまざまな社会福祉事業活用される。

●チャリティーバザー
社推協では毎年、12月の助け合い月間に街頭募金を実施しており、25回目。11月27日、鷺森別院報恩

中岡輪番は「報恩講は親鸞聖人のご命日にお勤めします。命日とは人がこの世の命を終えた日です。大好きな人との別れはとてもつらくて悲しい事です。でも阿弥陀さまは、私たちを必ず自らの浄土に生まれさせて、仏さまにならせますよと誓われ、南無阿弥陀仏と私たちに呼びかけてくださっています。命日とは素晴らしい仏さまとなる日、さびしいけれど、素晴らしい日なんです」と語り、子どもたちは真剣に聞き



お昼はカレーライスに舌鼓

お昼は、少年連盟の女性スタッフが用意したカレーライスに舌鼓。

入った。続いて、第18回子ども作品展表彰式、子どもの会修了証授与式が行われた。

講の昼休憩を利用して恒例のチャリティーバザーを開催した。この日は仏教婦人会の参拝奨励日。参拝者で満堂の本堂がさらに熱気に包まれた。この日の売上は、9万8690円。

このバザーは、社推協が実施する「敬老の日のお祝い」や「被災地支援・災害ボランティア活動」といった社会福祉活動資金とその啓発を目的として開催されている。

別院境内では、仏壯、仏婦などの教化団体によるアトラクションが設けられ、ストラックアウトや紙皿回し、お念珠作りなどに挑戦。別院は子どもたちのたくさんの笑顔であふれていた。

昼食のあとは、龍谷大学に所属する若手僧侶による「実践者(ツッセンジャー)ビヤクドール」によるヒーローショーでお楽しみ。子どもたちは、迫力ある映像と演技に引き込まれて45分間の公演時間はあっという間に過ぎた。

「連研」の原点を学ぶ

教区委員会が主催して研究会を開催

「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会は10月6日、門信徒教化部が担当して、鷺森別院で「連研のための研究会」を開催。教区内の僧侶・門徒ら65人が参加した。

この研究会は、教区内全組での門徒推進員養成連続研修会(連研)開催を願い、連研の現状と課題、話し合い法座の意義を確認し、連研の活性化を図ることを目的として、教区で開催され

ているもの。

前回は2012年(平成24)3月13日に、「和歌山教区組連研のめざす方向」というテーマで、連研中央



松野尾慈音師

講師の小滝信生師を迎えて開催。それ以来、約3年ぶりの研究会となった。今回は、2014年度に『連研ノートE』が本山で

発行されたことを受け、教材検討委員会座長としてその作成に携わられた松野尾慈音師を招いて、「新教材『連研ノートE』作成の背景と願い」の題で講義いただいた。

松野尾師は、「講義形式で連研を開催することは、知識を得るためだけの研修会になってしまつことが多い。連研は知識を得ることが目的ではなく、受講者に生きていく中でのよりどころを見つけていただくのが目的」と語られ、参加者は熱心に聞き入った。

教区内では今年度、14組中7組で連研を開催しているが、次のような課題が挙げられる。

げられる。

①僧侶をはじめとして開催する側が、連研の当初の目的と狙いをしっかりと把握せず、曖昧な認識のまま開催されている。②僧侶の教化者意識が強く、講師が一方的に話をする講義形式での開催が多い。③連研を

修了しても、中央教修に参加する方が少ない。

これらの現状を踏まえて「連研とは何か」「連研の原点である話し合い法座の意義」を再確認し、本来の主旨に沿った連研の開催となることを願う研究会となった。

報恩講を前に 清掃奉仕

和歌山教区仏教婦人会連盟では、隔月に教区内の連盟委員が中心となって会員らに呼びかけ鷺森別院の清掃奉仕を実施している。

昨年11月16日も午前10時30分から、約40人の有志が

集まり、同月24日からお勤めされる鷺森別院報恩講をお迎えするため清掃奉仕を実施。広い館内を手分けしてくまなく掃除。

また、この日は午後1時30分から毎月恒例の別院常例法座が開催されており、会員らは奉仕作業に引き続き熱心に聴聞した。



連研開催の目的と狙いについて学ぶ参加者

第18回子ども作品展開催

和歌山教区少年連盟

少年連盟は、本願寺鷺森別院報恩講勤修にあわせて「第18回子ども作品展」を開催した。今年度は教区内から書道展、絵画展にあわせて80点の応募があり、厳正な審査の結果、下記の方

が入賞。12月12日に開催された「子どもの集い」において、多くの友だちが見守る中で表彰式が開催され、受賞者には中岡順忍鷺森別院輪番から表彰状と記念品が授与された。

●書道の部

本願寺鷺森別院賞

▽新宅さやか

輪番賞

▽天野心太郎

少年連盟特別賞

▽石田慈

▽楠戸里乃歩

▽楠戸望亜良

▽高川心那

●絵画の部

本願寺鷺森別院賞

▽古田温生

輪番賞

▽板原朋香

少年連盟特別賞

▽田並彩花

※敬称略



第25代専如ご門主

伝灯奉告法要期日	
2016年(平成28年)	2017年(平成29年)
第1期 10月1日～8日	第5期 3月7日～14日
第2期 10月20日～27日	第6期 3月28日～4月4日
第3期 11月4日～11日	第7期 4月11日～18日
第4期 11月18日～25日	第8期 4月25日～5月2日
	第9期 5月9日～16日
	第10期 5月24日～31日

時代即応の教団へ新たな一歩

伝灯奉告法要 今秋と来春、西本願寺で

専如ご門主は昨年1月に発布された「伝灯奉告法要」についての消息で、法要を勤めるにあたっての思いを詳しく述べられている。

伝灯奉告法要の目的について、親鸞聖人から連綿と伝えられた法統を継承されたことを伝祖に奉告するとともに、本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展を期して、そのお言葉を受けて、私たちの教団にとって新たな

和歌山教区から団体参拝

14組で4390人募集



京都タワービルには法要を知らせる垂れ幕 お待ち受けムードが高まる

伝灯奉告法要についての消息

去る平成二十六年六月六日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を伝祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展を期して、平成二十八年および二十九年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

阿彌陀如来のご本願は、あらゆる存在を分け隔てなくそのまま救おうとほたらきかけていてくださいます。迷いと苦悩をかかえる私たちは、阿彌陀如来のお慈悲ひとすじにこの身を任せ、真実のさとりの世界であるお浄土に生まれていくべき身にならさせていただきます。宗祖親鸞聖人が「そらごたわごと」とお示しくださった私たち自身を含む迷いの世界は、何一つとしてたよりになるものはありませんが、ご本願のはたらきの中に生きる私たちは、確かな依りどころを持つことができます。

科学技術の発達による便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化はとどまることを知りませんが、人々は、そのような豊かさのみを追求することの虚しさや気づきはじめていたのではないのでしょうか。しかも、核家族化・人口の流動化などによって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり新たな悩みや不安を生み出しています。さらに世界に目を移せば、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、人類の生存に関わる課題が露呈しています。これらの傾向は今後一層強くなっていくことと思います。

私たちは、凡愚のまま振舞って捨てないとはたらき続けていくべき阿彌陀如来のお慈悲を聞き取らせていただき、その有り難き尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような営みの先にこそ、「自他共に心豊かに生きる」ことのできる社会の実現に貢献する「道が拓かれていく」のであります。

このたびのご法要が、親鸞聖人によって明らかにされた阿彌陀如来の救いはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的な協力とご参画を心からお願いいたします。

平成二十七年 一月十六日
二〇一五年

龍谷門主 釋 専如

専如ご門主「伝灯奉告法要」が、10月1日から西本願寺で始まる。今秋と来春、合わせて80日間勤められる法要には、全国から1日約2000人が参拝予定。法要は全日午後2時から。和歌山教区内14組でも、団体参拝の期日と募集予定人数が決まるなど、法要に向けて動き始めている。

- 【海草組】135人
- ▽2016年11月19日
- 【伊那組】300人
- ▽2016年10月20日
- 【有賀組】1200人
- ▽2017年3月29日
- 【有田南組】3000人
- ▽2017年3月14日
- 【有田北組】286人
- ▽2017年3月12日
- ▽2017年3月12日
- ▽4月16日
- ▽5月28日
- 【日高組】310人
- ▽2016年10月8日
- ▽10月23日
- ▽11月5日
- ▽2017年3月12日
- ▽4月26日
- 【御坊組】508人
- ▽2017年3月12日
- ▽3月12日
- ▽4月26日
- ▽5月26日
- ▽5月28日
- 【紀南組】3200人
- ▽2016年10月5日
- ▽10月22日
- ▽10月23日
- ▽11月5日
- ▽11月6日
- ▽11月19日
- ▽11月20日
- ▽2017年3月28日
- ▽3月29日
- ▽4月30日
- ▽5月28日

一歩となるご法要を、今秋お迎えすることになる。

- ▽2016年10月2日
- ▽2016年10月2日
- ▽2017年3月10日

専如ご門主、和歌山ご巡回

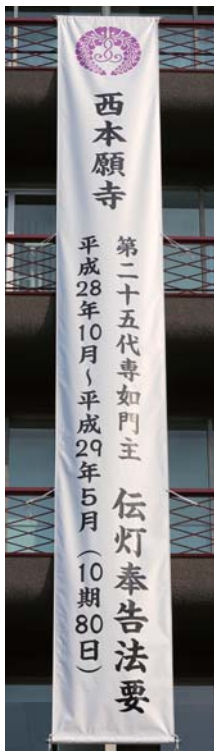
4/27 鷺森別院 4/28 日高別院



神戸別院ご巡拝の記念行事(昨年10/23)

伝統奉告法要に向けての機運を高め、宗門の諸活動

と、専如ご門主自ら各教



を巡回されている。4月27日午後には、鷺森別院に巡拝される。教区内門信徒との懇談を予定されているほか、記念式典では、ご門主が「伝灯奉告法要」についての消息を親読。これを受けて、宗派特命布教使が記念布教。そのあとは記念行事。翌28日午後は、御坊市の日高別院に巡拝される。

36年前の即如ご門主 伝灯奉告法要

【法要期間】1980年4月1日～10月6日



お言葉を述べられる即如ご門主現(前門主さま)

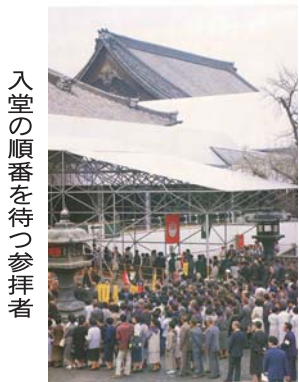
団体参拝のバスで大渋滞



満堂の阿彌陀堂でのご法要



新幹線で京都駅に到着



入堂の順番を待つ参拝者



午後の「伝灯の集い」は全国の仏婦会員が踊る「法輪音頭」から

写真は「第二十四代即如門主 伝灯奉告法要写真大鑑」から

5面から続く

門徒総代ら51人が念仏奉仕団

御坊組

御坊組総代会主催の第26回念仏奉仕団が11月25日から26日の2日間、京都の本山本願寺の念仏奉仕団に51人で参加した。

念仏奉仕団は、本願寺の清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、親鸞聖人のみ教えに学ぶとともに、仏恩報謝の生活にいそしみ、真の念仏者としての自覚と意識を高める機縁とするのが目的。

御坊組総代会では毎年、紅葉の美しい時期に大型バスで参加している。

今回の奉仕団は、北海道、大阪、広島などから13団体で総勢316人。

初日は、雨まじり



御影堂の畳を熱心に拭き掃除

清掃後はご門主との記念撮影とご面接、龍谷ミュージアム見学などの1日目のプログラムをこなし帰国の楽しい夕食のひとつを過ぎ、その後、聞法会館での常例布教をお聴聞。

また、この時期は紅葉にあわせて京都の各寺院でフライトアップがされており、夜の拝観に出かけられた方もいた。

の寒い日だったが、参加者らは熱心に広い御影堂の畳拭きを行った。

2日目は、朝6時からのお晨朝にお参り。このお晨朝へお参りするために念仏奉仕団に参加される方も少なくない。その後、清掃活動、書院の拝観や抹茶接待があり、閉会式で感謝状をいただき、2日間の念仏奉仕団の日程を終了した。

錦秋の京都で、お念仏の空気に浸る2日だった。

フルーツカッティングin妙願寺を開催

～子育て世代が子どもと参加～



フルーツの盛り付けに挑戦

日高組妙願寺(日高町志賀)で去る9月27日、地域の幼児とその保護者を対象にフルーツカッティングin妙願寺を開催。

妙願寺では、お寺という場所を活用して、子育て世代の方がお寺にお参りしみにフルーツカッティングin妙願寺を開催。

「フルーツカッティングin妙願寺」を中心とした催しを企画した。

午後1時から親子そろってナイフを手に持ち、みかん、りんご、キウイなどの



演奏に聴き入る参加者

この日の参加者は55人。初めて妙願寺に参拝した人が9割を占め、お仏壇が家庭にない人も半数いたが、この日の参加者にとって、お寺が身近で楽しい居場所となった。

その結果、参加者が果物をきれいに切って盛り付ける「フルーツカッティング」を始める。その後、絵本の読み聞かせと、えっちゃんとう愉快な仲間たちによるサンプライズコンサート。ピアノ、楽太鼓、琉球三味線、フルートなどで9曲が演奏され、大いに盛り上がり閉会。

教えるにふれる場になるような事はできないか?という疑問を、ボランティアに携わっている方に相談。

カットイングを開始。カットした果物をみんなで楽しく盛り付け出来上がり。住職の阿弥陀さまのお話を聞き、みんなで手を合わせた。



参拝者で満堂の本堂

日高組 第21回真宗法座にぎわう

即生寺(日高町志賀)では12月13日、毎年恒例の真宗法座を開催。僧侶・門徒ら109人が参集した。

この法座は年に1度、組内の連研受講者をはじめ、僧侶や門徒を対象にして、著名な講師をお招きし、浄

土真宗のご法義を聴聞し、研さんを深めることを目的として開催されている。

今年は「他力本願」をテーマに、若林真人師(大阪教区、本願寺派輔教・本願寺派布教使)が講義。

今回で21回目を迎えた今回も、幅広い年齢層が一堂に会するにぎやかな法座となった。

親鸞聖人、法然聖人の足跡たどる

和歌山組 寺族青年会研修旅行

和歌山組寺族青年会では去る9月27日、会員相互の親睦を図り真宗教義の理解を深めるために研修旅行を開催。第1回となった今回は、初秋の比叡山を訪れ、親鸞聖人と法然聖人のご修学の地2カ寺を巡った。



法然聖人修学の地、青龍寺

和歌山を出発し、鉄道で比叡山の麓、大津市坂本に到着。坂本の街並みを少し散策しケーブルカーで入山。まず、親鸞聖人がご修行されたという無動寺谷の大

乗院へ。無動寺谷は古来より千日回峰行の本拠地で、参拝当日も本堂の明王堂で回峰行者の堂入りの準備が慌ただしく行われていた。

親鸞聖人が比叡山でどのように過ごされていたのかは、わずかに恵信尼公のお手紙に「堂僧」をきかれていたと書かれていたのみで詳しくは分らないが、親鸞聖人の得度の師である慈円和尚がそのころ無動寺谷の責任者を務めら

れていたことから、入門して間もない弟子であった親鸞聖人も、この無動寺谷で修行されていたと比叡山では伝承されている。このことから、無動寺谷の大乗院には親鸞聖人が自作とされる蕎麦食いの木造が安置されている。



親鸞聖人ご修行の地、無動寺谷の大乗院

次に法然聖人がご修行された黒谷の青龍寺に参拝。青龍寺は戦国時代の織田信長による比叡山焼き討ちなどによって荒廃し、一時途絶えていたが、昭和に入り

ラジオ放送番組
みほとけとともに
- 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から
- 和歌山放送 (WBS) -

和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	1577kHz

浄土宗が復興し、比叡山内ながら天台宗ではなく浄土宗(知恩院)の寺院として

運営されている。

山門脇には報恩蔵という経本の蔵が復元されており、法然聖人が浄土教のみ教えに出遇われた場所として今でも多くの参拝者が訪れる。黒谷の青龍寺からの帰途は徒歩で京都府側の麓の大原道へ下山。

比叡山の行者が歩く険しい道を自分たちの足でたどりながら、真剣に仏道を求められた親鸞聖人と法然聖人のご修行と、浄土のみ教えを頭かにされたご苦勞を味わう研修旅行となった。

寺院新役員の自覚新た

責任役員・門徒総代へ辞令伝達

和歌山教区では教区内寺院の責任役員辞令・門徒総代登録証の伝達式を11月26日、和歌山教区門徒総代会の研修会に併せて行った。

この伝達式は毎年2回、寺院活動のさらなる充実と発展に向

け、その中核となる役員としての自覚を新たにするとともに、寺院を超えて同じ

役員として相談や協力できる仲間づくりの場になればとの願いから行われている。伝達式では、参加した各寺院代表者に中岡順忍教務所長が辞令を伝達。その後、新役員に対して、時代や地域に応じて、それぞれのお寺でより多くの方にみ教えが伝えられるよう創意工夫をこらしていただきたいと激励した。

なお、この日は平成27年4月から10月末までに願記申請をした寺院40カ寺154人が対象となった。

鷺森別院報恩講で音楽法要

教区仏教婦人会連盟が企画

昨年11月24日から28日まで

勤修された鷺森別院報恩講では、4日目の法要を、宗祖讃仰作法音楽法要でお勤めした(写真)。

当日が参拝奨励日となる

教区仏教婦人会連盟が企画エレクトーンの演奏とコーラスに雅楽が加わり、普段の法要のお勤めとはまったく違う響きとメロディーで参拝者を魅了した。

御礼

先般、社推協当支部主催にて開催したチャリティーバザーに、ご寺院住職様はじめ各教化団体役員・会員様より多くの物品を提供頂きましたこと、心より御礼申しあげます。

また、当連盟の活動にご賛同いただき、当日ご協力いただきました皆様にご心から感謝申しあげます。

本派社推協和歌山教区支部

響流十方

1~3月の催し

本山

- 1月1日 修正会(元旦会)
- 1月8日 大御身(親鸞聖人御影像のお身拭き)
- 1月9~16日 御正忌報恩講

和歌山教区

- 1月17日 門徒総代会鷺森別院剪定奉仕(鷺森別院)
- 1月22日 和歌山教区僧侶研修会(鷺森別院)
- 2月4日 近同推寺族女性研修会(和歌山教区担当)
- 2月6日 第3連区ビハ

- 3研修会(鷺森別院)
- 2月7日 寺族青年連盟研修会(鷺森別院)
- 2月9日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 2月18~19日 第3連区青年布教使研修会(滋賀教区担当)
- 2月19~21日 第3連区仏教青年連盟研修会(滋賀教区担当)
- 2月21日 教区連研修了者研修会(鷺森別院)
- 2月23~24日 近畿地区仏教婦人会連盟推進協議会(滋賀教区担当)
- 2月24日 布教使研修会(鷺森別院)
- 2月25日 少年連盟委員会(鷺森別院)
- 2月27~28日 第3連区仏教壮年会連盟連絡協議会(滋賀教区担当)
- 2月28日 組活動推進事業研修会(和歌山西組)

教区内各組

和歌山組

- 3月5~6日 得度講習会(鷺森別院)、第3連区門徒推進員研修会(奈良教区担当)
- 3月10~11日 門徒総代会念仏奉仕団(本願寺)
- 3月15日 仏教婦人会連盟鷺森別院清掃奉仕(鷺森別院)

- 1月18日 仏教婦人会々ノナ活動(鷺森別院)
- 1月23日 第6期連続研修会①(鷺森別院)
- 1月23日 寺族青年会新年会(会場未定)
- 1月30日 仏壮・総代会現地研修会(日高別院)
- 1月未定 寺族女性会新年会(会場未定)
- 2月17日 仏教婦人会々ノナ活動(鷺森別院)
- 2月未定 寺族女性会例会(専念寺)
- 3月12日 第6期連続研修会②(鷺森別院)
- 3月14日 仏教婦人会々ノナ活動(鷺森別院)

- ナ活動(鷺森別院)
- 3月未定 寺族女性会例会(西念寺)
- 3月未定 寺族青年会例会(会場未定)

- 「ト」を通して学ぶ念仏者のつどい(教願寺)
- 3月6日 第6回組内会(慶圓寺)
- 3月27日 組会(教願寺)

- 議会(正善寺)
- 3月6日 門徒総代会総会(西方寺)
- 有田南組 2月未定 組会(称念寺)

和歌山東組

- 2月中旬 組会(鷺森別院)
- 3月3~4日 念仏奉仕団(本願寺)

加茂組

- 2月未定 加茂組キッズサソノカ(光輪寺)

日高組

- 2月6日 第9期連続研修会⑦(教専寺)
- 2月27日 組内会、日高組実践運動推進僧侶研修会(円行寺)

和歌山西組

- 1月17日 第16期連続研修会⑤(松専寺)
- 1月28日 和歌山西組寺族婦人会例会(未定)
- 2月7日 組内会(正善寺)
- 2月未定 和歌山西組門徒総代会委員会(正善寺)
- 2月未定 和歌山西組仏教婦人会役員会(安樂寺)
- 3月6日 第16期連続研修会⑥(正善寺)
- 3月未定 組実践運動推進協議会(万福寺)

海南組

- 2月27日 組連研新教材普及学習会・研修会(了賢寺)
- 3月12日 組会(了賢寺)

御坊組

- 3月3日 寺族婦人会報恩講・総会(円行寺)
- 3月5日 組実践運動推進協議会(円行寺)
- 3月26日 組会(未定)

海草組

- 2月未定 僧侶研修会・寺族女性会合同研修会(報徳寺)
- 3月10~11日 念仏奉仕団(本願寺)

紀南組

- 3月11日 キッズサンカ(勝徳寺)

伊那組

- 2月29日 「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」推進僧侶研修会(会場未定)
- 3月未定 組会(会場未定)

有賀組

- 2月7日 実践運動推進協議会(会場未定)

和歌山北組

- 1月24日 第5回組内会(慶圓寺)
- 1月30日 和歌山北組実践運動「連研新教材E」

有賀組

- 2月7日 実践運動推進協議会(会場未定)

紀南組

- 3月11日 キッズサンカ(勝徳寺)

本堂・園舎など境内の手作り模型寄贈される

日高別院・御坊幼稚園

創立100周年を迎えた御坊幼稚園に、日高別院・御坊幼稚園の精緻な手作り模型が、御坊市島在住の吉田秀さんから寄贈された。

この模型は、江戸時代末期に描かれた「紀伊名所図絵」にある「日高御坊」を参考にして作製されており、巧に作られている。

現存していない経蔵や、唐破風屋根の女関をもつ書院が復元されている。製作期間は約半年。大きさは畳半畳分で、木ヒゴや厚紙、枯れ枝などを使い精巧に作られている。

仏具をピカピカに

別院報恩講前におみかき

鷺森別院わかさぎ会は、別院報恩講法要に先立つ11月13日、鷺森別院本堂でおみがきを実施した。

わかさぎ会は、教区内寺院の坊守をはじめ、鷺森別院婦人会会員の親族、幼稚園保護者などが所属し、毎月1回鷺森別院で勉強会を開き研さんに励んでいる。



心を込めて仏具を磨くわかさぎ会の皆さん

わかさぎ会では毎年2回、別院の仏具をみがく奉仕活動を行っている。



寄贈された模型に見入る園児たち

12月4日の日高別院報恩講で園児・保護者参拝日に併せて贈呈式が行われ、その席で、吉田さんは子どもたちに「御坊幼稚園創立100周年を記念して、ぜひ模型を作って欲しいとの依頼を受けた時、御坊幼稚園で息子が育てられ大変お世話になった事もあり、恩返し

の気持ちで引き受けました。心を込めて作ったのでじっくり見ていただき、つくるといふことの楽しさを感じて欲しい」とメッセージを送った。

園児たちは順番にその細部まで再現された模型に見入っていた。

鷺森別院の催し

■元旦会

1月1日、元旦会をお勤めする。午前7時から本堂で正信念仏偈行譜をお勤め引き続き書院で、中岡順忍輪番が年頭の挨拶。その後参拝者にお供えしたお酒を振る舞うご流盃の儀がある。

■春季彼岸会

3月19日から21日の3日間、春季彼岸会をお勤めす

日高別院の催し

■元旦会

1月1日午前0時30分ごろ(除夜の鐘終了後)から新年最初のお勤めである元旦会を本堂で。正信念仏偈行譜をお勤めし、中岡順忍輪番が年頭の挨拶。

得度

11月 和田淑江(和歌山北組正光寺)、荻野亮子(海草組教蓮寺)、田伏洋(御坊組長楽寺)

教師

佐久間知子(和歌山東組玄妙寺)、杉山龍法(和歌山)

る。毎座、午後1時30分から。布教使は牧野光博師(山県市掛・大性寺)。

■婦人会
1月18日、午前11時から。午後1時30分から3時30分。

■子ども会
1月23日、2月14日の午前10時から正午まで。

■常例法座
1月15、16日、園淵和貴師(大阪市西淀川区佃・西法寺)。2月15、16日、戸

川教宏師(枚方市長尾元町・勝圓寺)。3月15、尾崎道裕師(吉野郡下市町・實源寺)、16日は未定。毎座、

■第12回孫市まつり
3月27日、鷺森別院と周辺を会場に、孫市の会が主催する恒例の「孫市まつり」が開催される。午前11時から午後4時(予定)。

■常例法座
1月20日、午後1時30分から3時ごろまで。布教使は中原昭俊師(尼崎市南清水・専正寺)。

■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要
3月22日、午後1時30分から春季彼岸会が勤修される

御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要が勤修される。

(本願寺日高別院 御坊市御坊100)

る。本堂で阿弥陀経をお勤めし、引き続き牧野光博師(山県市掛・大性寺)の法話。なお、この法要に併せて御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要が勤修される。

北組永正寺)、中西二天(加茂組遍照寺)、間嶋裕二(有田北組西光寺)、玉置信天(御坊組光徳寺)

10、12月

▽板原哲夫(和歌山西組法専寺・衆徒) 10月8日

▽菅本誓導(有田北組浄誓寺・前住職) 10月9日

▽前田修智(御坊組安養寺・衆徒) 10月17日

▽菅原登美(有田北組教蓮寺・衆徒) 10月31日

▽武内滋皓(和歌山北組善勝寺・前住職) 12月2日

つれもて 聴こら

親鸞聖人は阿弥陀さまの撰取不捨のおすくいのほたらきを表すのに、日常生活でよく使う「救う」ではなく、「拯う」という言葉を用いて表現されました。

「拯」という字は、普段の生活のなかではなかなか使うことのない字ですが、例えば、私たちが日ごろお勤めさせていただく『正信念仏偈』の「拯済無辺極濁悪(無辺の極濁悪を拯済したまふ)」という一句に出てくるように、親鸞聖人がそのご著書のなかですくいを表すときには、この字を用いておられるのです。

では、「救」と「拯」ではどのような違いがあるのでしょうか。「救」の字は「救急車」などに用い、苦

しんでいる人の苦しみの元を取り除いて楽にする、という意味を持っています。歯医者さんで虫歯を治してもらう場合には、歯が痛い

桑原浄昭

という苦しみを取り除くことで、楽にさせてくれるので「救」の字が使われます。一方、親鸞聖人が、阿弥陀さまのおすくいのほたらきを表すために使われた「拯」の字は、そのままの

という町があります。この地域は、盆地状になっており川が流れていないため、ため池を造り、そこに水を蓄えて田に水を供給しています。至る所のため池が見られるのはそのためです。

出ていますが、昔はありまじょう。でも、さおを差し出してロープを投げてもらって助けることができるのでしよう。でも、さおを差し出してロープを投げてもらって助けることができるのでしよう。でも、さおを差し出してロープを投げてもらって助けることができるのでしよう。



親鸞聖人が「拯」の字に込めた意味

阿弥陀さまが法蔵菩薩であったとき、世自在王仏のもとで数限りない仏さま方につくられた浄土の世界をご覧になられ、その仏さま方の願いとはたらきを長い時間をかけて研究されたのでした。

しかし、「差し出したロープをつかんだら、引っ張るのです。この阿弥陀さまのおはたらきを、親鸞聖人は「救う」ではなく「拯う」と表されたのでした。

私をそのまますくう仏さま

すくい、無条件のすくいと意味を持っています。広島県の東広島市に西条

今はそのほとんどのため池に、進入することができないように柵が取り付けら

か。さおやロープを持って来て、それを子どもにつかんでもらえば、引っ張り上

るで」という仏さまばかりで、ロープをつかむことができない者に対して、はた

(呉市広中町・浄円寺) 11月26日の鷲森別院報恩講法要の法話から